

# クリーンセンター滋賀だより No.8

2007年4月



財団法人 滋賀県環境事業公社

## 貯留構造物等が完成

廃棄物埋立地の下流部に埋立した廃棄物の流出や崩壊を防ぎ、安全に貯留するための貯留構造物（重力式コンクリートダム）が、平成18年6月6日に初めてのコンクリート打設を行って以来、約8ヶ月を要し平成19年2月中旬に完成しました。

ダムの規模は天端長L = 107.10m 堤高H=25.0m 天端幅W=4.0mで、堤体コンクリート総打設量は約13,300m<sup>3</sup>です。

完成した貯留構造物



遮水シートの溶着工事

また、貯留構造物の下流側に設ける止水のための地下連続壁も、この3月末に完成しました。

平成19年度は、貯留構造物の上流側の遮水シート敷設等の表面遮水工および管理棟等の建築物ならびに下流側の浸出水貯留槽および浸出水処理施設工事を実施します。

## 嘉田由紀子理事長 神区を訪問

平成19年1月31日に滋賀県環境事業公社理事長である嘉田由紀子知事が、「クリーンセンター滋賀設置事業」の建設現場を視察しました。

その後、甲賀市甲賀町神の「里山かむら交流館」において、地元神区の対策委員会の皆さんと意見交換を行いました。

地元からは環境や安全について十分配慮し、安全な処分場の建設および搬入道路の県道整備事業の促進についての要望をいただき、公社の取り組み状況を説明しました。



里山かむら交流館での意見交換の状況

## クリーンセンター滋賀環境監視委員会の開催

### 第7回クリーンセンター滋賀環境監視委員会

1. 開催日時：平成18年11月14日（火）14:00～16:30
2. 開催場所：クリーンセンター滋賀工事現場およびJV甲賀工事事務所
3. 出席者：13名／委員数 14名
4. 議事概要

#### 1) 濁水対策の概要と環境監視の報告について

##### 【主な意見】

①直下流の濁水の状況が著しいが、何が影響しているのか。

→ 場内で降った雨はすべて調整池に集められ、沈殿をさせ上水を放流するようになりますが、本年7月は時間降水量および日降水量が多かったことと、調整池の掘削工事と重なったため、調整池の沈殿効果が十分出ませんでした。

また、土工事による法面が安定しておらず裸地状態であったことが重なり、処理しきれない部分が直下流に濁水として流れ出たと考えられます。

このようなことから公社としては、仮設沈砂池の設置、法面のモルタル吹き付け等および濁水の凝集沈殿の対策を講じて濁水対策を強化しました。

8月以後は、調整池の工事も終わったこともあり、降雨も少なかったため、濁水対策の効果が出ていました。

財団法人滋賀県環境事業公社は、県民の生活環境保全のために県内の産業廃棄物の適正な処理を公共関与により行うことを目的として、県・市町・関係事業者の出資で設立された公益法人です。

② 処分場に降った雨は、どこに流れるのか。

→ 遮水シートの上段に水路を設けており、水路より上流部の雨水と遮水シートの下を流れる地下水等は、調整池から次郎九郎川に放流します。

また、水路から下流部の遮水シート上に降った雨は、廃棄物と接触しますから浸出水として水処理を行って下水道に放流します。

## 2) 工事の進捗状況について

### 【主な意見】

① 各工事ごとの状況写真は、整理されていると聞いているが、閲覧請求された場合に提示できるようにしてほしい。

→ 工事毎の重要ポイントの写真等を整理し、分りやすく見ていただける方法をとります。

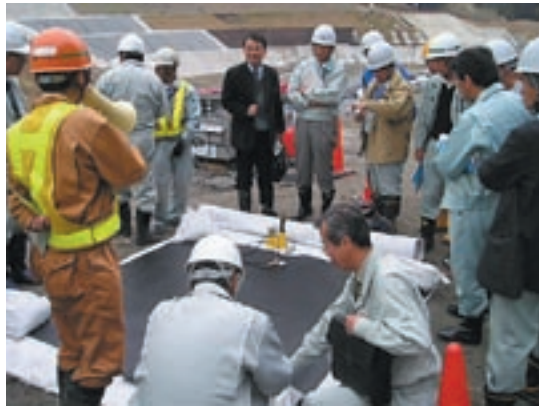
② 地元住民の他、一般の関心のある方も含めての現場見学会を実施してはどうか。

→ 地元の方の他に、広く一般の方にも見ていただける見学会を計画していきます。

③ クリーンセンター滋賀では、鉛直遮水工など十分な施設を設置しているが、一般の方への安全性のアピールのため模型を展示してほしい。

→ 模型の作成が可能か検討させていただきます。

遮水シートの溶着後の圧力検査



## 第8回クリーンセンター滋賀環境監視委員会

1. 開催日時：平成19年2月26日（月）10:00～17:30

2. 開催場所：愛知県豊田市御船（財）豊田加茂環境整備公社 御船産業廃棄物処分場

3. 出席者：出席委員12名／委員数14名

4. 議事概要

### 1) 御船産業廃棄物処分場の視察について

【主な質疑】（回答は、豊田加茂環境整備公社です。）

① 廃棄物が、廃プラスチック類とゴムくずといった異なる品目が混載して入ってくるものがあるのか。

→ 廃棄物は品目ごとに搬入するよう指導しており、皆さん分けてこられます。

② 供用開始したときには、車などのトラブルはなかったか、供用開始前と後に比較して問題はなかったか。

→ 供用開始前と後でトラブルがあったとは聞いていません。

また、生活道路は搬入路として使用しないよう業者に指導しています。

③ 地域への情報公開で、地元自治体役員による処分場への立入り調査はどのようにしているのか。

→ 地域の方および学校等誰でも見学してもらっています。

## 2) クリーンセンター滋賀設置事業の状況について（往路のバス中にて）

### 【主な意見】

① 工事施工に伴い、事故とか地域住民の方からの苦情などはなかったか。

→ 11月23日から1月間調整池にヨシを植栽のため水位を下げており、地域住民の方から濁水が出ているという指摘がありましたが、直ちに凝集沈殿処理装置で処理するよう対策を講じました。

② 前回の委員会の議論にあった工事ごとの写真の整理は、良い形でまとめてあり有意義

である。今後、住民の方に公開もされたほうが良いと思う。

→ 工事ごとの写真は、甲賀支社で公開することになっています。

③ 廃棄物の搬入時のチェックをどのようにするのか。

→ 搬入管理システムを現在検討中であり、次回の委員会に報告します。

④ 業者に発注した浸出水処理装置等が完成したときには、引き渡しまでにチェックを会社がするが、何をどうやってするのかということを説明してほしい。

→ 今後、委員会で説明します。

⑤ マニフェスト（廃棄物の処理委託時に排出事業者が交付する伝票のことで、処理の経過や適正処理を確認する制度）とGPS（衛星からの電波を受信して位置等を知るためのシステム）と関連させて処分場の中の三次元空間の何処にどれだけ埋立処分したかが分かるようにするのか。

→ 何月何日に何処の排出事業者のどのような廃棄物をどこに埋めたかをマニフェストとGPSを関連させて確認できるシステムを構築する方向で考えています。

⑥ 処分場に廃棄物を埋めていく方法について、地盤の安定性の観点等から品目ごとに埋立するなど、埋立場所等の検討しているのか。

→ 埋立方法について、現在どのような方法が良いのかを検討しており、他所の事例等を参考にしながら決めていきたいと考えています。

御船産業廃棄物処分場の視察状況



発行：財団法人 滋賀県環境事業公社 甲賀支社  
住所：甲賀市甲賀町大原市場744  
電話番号：0748-88-9191  
FAX番号：0748-88-6322  
メールアドレス：aef88910@tree.odn.ne.jp  
ホームページ：http://ice.candy.ne.jp/~ie-kankyo/